環境対策に注力

天然ガス車を積極導入

越野運送

環境保全に考慮したグリーンプロジェクトを行い、荷主とのパートナーシップを構築して積極的な環境対策の取り組みをしている越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）。

同社は、荷主と調達先メーカーの協力のもとミルクラン方式を採り入れ、集荷・納品の集約を実現している。幹線輸送などは、鉄道コンテナ輸送を利用したモーダルシフトを行うだけでなく、集荷・納品に使用する車両は、すべて天然ガス車を導入して共同配送部分でのCO2削減につなげており、環境対策に会社一丸となってレベルの高い取り組みを行っている。

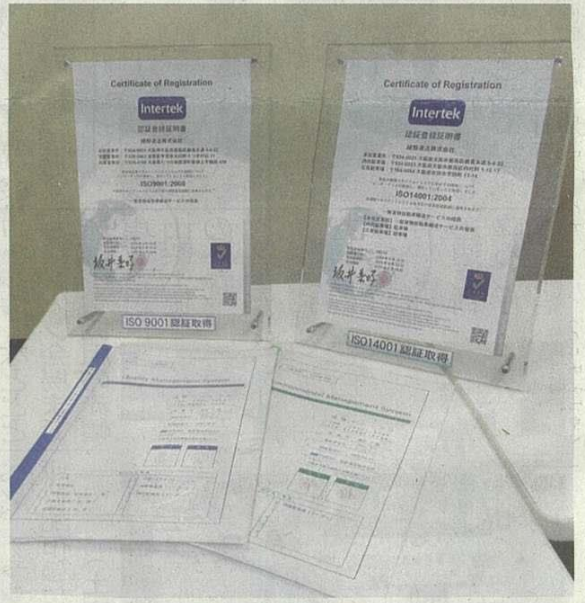
天然ガス車の導入も積極的に行っており、荷主の環境対策に貢献しながら自社でもISO14001の取得など徹底して環境対策に取り組んでいる。

また、自社の仕事内容に天然ガス車がマッチしていることもあり、積極的に同車両の導入をしている。「天然ガスを導入して仕事をすることで、顧客からも環境に取り組んでいる企業と認知してもらえている」と説明し、「環境対策に徹底して取り組むことで環境対策に注力している会社とアピールできる。次の営業の武器にもなる」と話す。

同社は、今後も環境対策に取り組み、顧客の信頼を得られるように現状の配送を継続するだけでなく、社員一丸となり環境対策に取り組んでいく。

越野社長は「環境対策は小さなことの積み重ね。天然ガス車も常に台数を保有して様々な次の展開ができるようにしていく」と話す。

（中村優希）



認証登録証明書

物流 Weekly　2019 年 11 月 18 日号